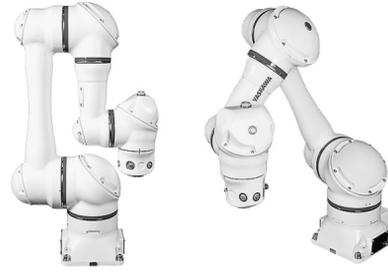


省スペース化進む

アーム短く作業性向上

安川電機 人協働ロボット



MOTOMAN-HC10SDTP

安川電機は、可搬重量10kgの人協働ロボットをショートアーム仕様とした「MOTOMAN-HC10SDTP」を3月9日から販売開始した。価格は約17万円。

新製品は、アームの長さ(保が不要なフームスイング動作)が、従来の1/2程度に短縮された。さらなる省スペース化のほか、最短アーム化のほか、最大で手の作業性が向上し、人に近い領域で作業できる。また、設備の省スペース化も実現できる。さらに、ロボット本体表面は、フルカラー印刷が施されている。防塵・防滴・防油・防錆を実現し、幅広い産業分野での使用が可能。

タン塗装、先端ランジの材質はステンレスを採用しており、衛生面への配慮から水洗が必要用途での使用が可能。

ロボット先端のエンドエフェクタ取り付け部は、標準規格「ISO9409」に準拠しており、同規格準拠の豊富なエンドエフェクタや周辺機器など、さまざまな機器を簡単に接続できる。しかもロボット内蔵ケーブルとして、ロボット先端へのケーブル搭載が便利。EthernetやI/O用のケーブル、エアホースを内蔵しており、ロボット本体に配線が無く、周辺機器との干渉を避けることができ、セットアップを容易に行える。

そのほか、人協働ロボットとして、安全機能として外部からあらかじめ設定した制限値を超える力を検出する自動で停止する「協働モード」。

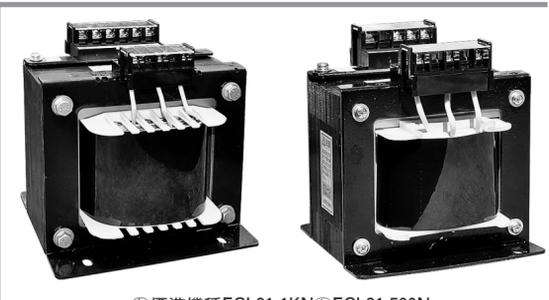
三菱電機 50GbpsDFBレーザー

三菱電機は、第5世代移動通信システム(5G)の干渉を避けることで、基地局ネットワークのファイバー通信を使用する光通信用デバイス「50GbpsDFBレーザー」のサンプル提供を3月4日から開始した。新製品は、業界トップクラスの広い動作保証温度範囲(動作保証温度範囲: -40℃~90℃)で、電圧変動に強く、熱電変換素子不要とし、移動通信システム基地局と外形寸法の互換性を確保し、小型光トランシーバー規格(PP56)に適合している。

また、PAM4変調方式の対応伝送速度50Gbps(伝送製品25Gbps)の実現で、5Gの高速大容量化に貢献。

三菱電機は、第5世代移動通信システム(5G)の干渉を避けることで、基地局ネットワークのファイバー通信を使用する光通信用デバイス「50GbpsDFBレーザー」のサンプル提供を3月4日から開始した。新製品は、業界トップクラスの広い動作保証温度範囲(動作保証温度範囲: -40℃~90℃)で、電圧変動に強く、熱電変換素子不要とし、移動通信システム基地局と外形寸法の互換性を確保し、小型光トランシーバー規格(PP56)に適合している。

また、PAM4変調方式の対応伝送速度50Gbps(伝送製品25Gbps)の実現で、5Gの高速大容量化に貢献。



標準機種種ECL21-1KNとECL21-500N

相原電機 標準トランスを一新

RoHS10対応、小型・軽量化

相原電機(大阪府平野区)は、標準機種トランスECLシリーズをモジュール型とし、軽量化を実現した。ECLシリーズは、ECL21-1KN、ECL41N、ECL42N、ECL50V(20kVA)の各シリーズの機種(容量2.5kVAから9.5kVA)を、また、軽量化に伴い、取り付け寸法や取り付け穴(アルミ穴から長穴)を変更した。ECL21Nは、ECL21Nが1次2次200V100V、2次100V100Vに変更になるが、ECL41N、ECL42Nは従来シリーズと同じで変更なし。

標準機種トランスECLシリーズは、モジュール型とし、軽量化を実現した。ECLシリーズは、ECL21-1KN、ECL41N、ECL42N、ECL50V(20kVA)の各シリーズの機種(容量2.5kVAから9.5kVA)を、また、軽量化に伴い、取り付け寸法や取り付け穴(アルミ穴から長穴)を変更した。ECL21Nは、ECL21Nが1次2次200V100V、2次100V100Vに変更になるが、ECL41N、ECL42Nは従来シリーズと同じで変更なし。

AVESA産業用ソフトの販売強化

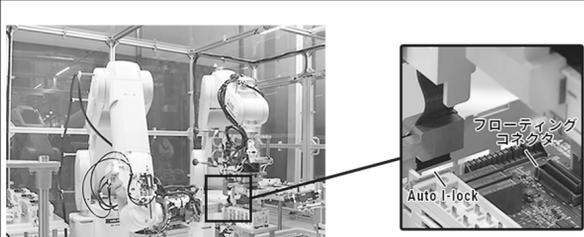
シユナイターエレクトリックは、日本のインダストリー事業が産業オートメーション用ソフト「AVESA」を販売強化している。

80カ国以上の12万以上の工場・プラントで、合計80万本以上のライセンス導入実績を誇る産業用ソフトウェア「AVESA」は、インダストリーソフトウェアの「王者」として知られ、日本でも多くの製造現場に導入されている。

今回の販売強化は、AVESAのライセンス導入を促進し、インダストリーソフトウェアの「王者」として知られ、日本でも多くの製造現場に導入されている。

AVESAは、インダストリーソフトウェアの「王者」として知られ、日本でも多くの製造現場に導入されている。

AVESAは、インダストリーソフトウェアの「王者」として知られ、日本でも多くの製造現場に導入されている。



イリソ電子工業のロボット組立適合コネクタは、コネクタ本体が実装された基板に動くためのパネを有し、組み立て時に生じる基板位置ずれを吸収し、組立性の向上に貢献。Auto-lockは、コネクタ内部の左右両側にFPCを保持する金属部品を有し、FPCを挿入しただけで嵌合から固定まで完了。これによりロボットの動作をシンプルにでき、ミスマウントでの嵌合不具合を激減。今までは難しいとされていたFPC/FCCカードのロボット組み立てを可能とした。2点接点コネクタは、同一線上の接点をもち、コネクタ同士に相手側に異物が侵入していた場合も前段の接点に確実に突き出し、後段の接点による健全な接続を確保できる。これによりさまざまな組み立て環境への対応が可能となる。

イリソ電子工業 ロボット組立適合コネクタ 日本機械学会優秀製品賞

イリソ電子工業のロボット組立適合コネクタは、コネクタ本体が実装された基板に動くためのパネを有し、組み立て時に生じる基板位置ずれを吸収し、組立性の向上に貢献。Auto-lockは、コネクタ内部の左右両側にFPCを保持する金属部品を有し、FPCを挿入しただけで嵌合から固定まで完了。これによりロボットの動作をシンプルにでき、ミスマウントでの嵌合不具合を激減。今までは難しいとされていたFPC/FCCカードのロボット組み立てを可能とした。2点接点コネクタは、同一線上の接点をもち、コネクタ同士に相手側に異物が侵入していた場合も前段の接点に確実に突き出し、後段の接点による健全な接続を確保できる。これによりさまざまな組み立て環境への対応が可能となる。

イリソ電子工業のロボット組立適合コネクタは、コネクタ本体が実装された基板に動くためのパネを有し、組み立て時に生じる基板位置ずれを吸収し、組立性の向上に貢献。Auto-lockは、コネクタ内部の左右両側にFPCを保持する金属部品を有し、FPCを挿入しただけで嵌合から固定まで完了。これによりロボットの動作をシンプルにでき、ミスマウントでの嵌合不具合を激減。今までは難しいとされていたFPC/FCCカードのロボット組み立てを可能とした。2点接点コネクタは、同一線上の接点をもち、コネクタ同士に相手側に異物が侵入していた場合も前段の接点に確実に突き出し、後段の接点による健全な接続を確保できる。これによりさまざまな組み立て環境への対応が可能となる。

イリソ電子工業のロボット組立適合コネクタは、コネクタ本体が実装された基板に動くためのパネを有し、組み立て時に生じる基板位置ずれを吸収し、組立性の向上に貢献。Auto-lockは、コネクタ内部の左右両側にFPCを保持する金属部品を有し、FPCを挿入しただけで嵌合から固定まで完了。これによりロボットの動作をシンプルにでき、ミスマウントでの嵌合不具合を激減。今までは難しいとされていたFPC/FCCカードのロボット組み立てを可能とした。2点接点コネクタは、同一線上の接点をもち、コネクタ同士に相手側に異物が侵入していた場合も前段の接点に確実に突き出し、後段の接点による健全な接続を確保できる。これによりさまざまな組み立て環境への対応が可能となる。

イリソ電子工業のロボット組立適合コネクタは、コネクタ本体が実装された基板に動くためのパネを有し、組み立て時に生じる基板位置ずれを吸収し、組立性の向上に貢献。Auto-lockは、コネクタ内部の左右両側にFPCを保持する金属部品を有し、FPCを挿入しただけで嵌合から固定まで完了。これによりロボットの動作をシンプルにでき、ミスマウントでの嵌合不具合を激減。今までは難しいとされていたFPC/FCCカードのロボット組み立てを可能とした。2点接点コネクタは、同一線上の接点をもち、コネクタ同士に相手側に異物が侵入していた場合も前段の接点に確実に突き出し、後段の接点による健全な接続を確保できる。これによりさまざまな組み立て環境への対応が可能となる。

MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

- EASYTITE MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.
- OTAX SHANGHAI LIMITED
- OTAX KOREA CO., LTD.
- OTAX CO., LTD.
- OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.
- AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.
- OTAX SEIKI (HESHAN) CO., LTD.
- OTAX HONG KONG LIMITED
- OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.
- OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ
スライド
ピアノ
ロータリー

操作スイッチ
トグル
ロッカー
押ボタン

金属加工関連
アルミニウム加工
MIM・精密ネジ

コネクタ
各種コネクタ
テストソケット

ヘルスケア
医療機器
ウェアラブル

端子台
FA用
エアコン用

otax オータックス株式会社 TEL: 045-543-5621 H P: www.otax.co.jp
本社: 〒223-8558 神奈川県横浜市港北区新羽町1215

LECTOR62x: どのような光でも完璧な視界

THIS IS SICK

Sensor Intelligence.

LECTOR62xは、1Dおよび2Dコード、さらにスタック型コードならびにOCR文字を確実に読み取るコンパクトなイメージコードリーダーです。高性能のDPMデコーダは、レーザマーキングやドットピンマーキングもエラーなく読み取ります。しかも弱いコントラストのコード、汚れたコード、低品質のコードにも難なく対応します。2色のLEDを使用した明るい照明コンセプトにより、LECTOR62xは特に外乱光に対して耐性があります。照明条件が変化する場合も、安定した読み取りを保証します。筐体はコンパクトで回転可能なコネクタユニットが付いているため、わずかな取付空間しかない生産ラインにとっては理想的なコードリーダーです。これこそ私たちの考えるインテリジェンス。

www.sick.com/jp/ja/Lector62x

ゼロエミッション追い風に

電磁開閉器(マグネットスイッチ)の需要が拡大している。工作機械や半導体製造装置、ロボットなどの工機関連の需要が急速に回復しているためだ。加えて、IoT関連をはじめとした社会インフラ関連も投資が継続して需要を支えている。製品傾向は小型・薄型化、低消費電力化、省スペース化、高圧のDC(直流)化の対応など、地道な開発が続いている。市場はメーカーの寡占化が進みつつあるが、各社が得意市場を有し、グローバル視点での取り組みが継続している。

電気回路の開閉制御を行う役割を果たす電磁開閉器は、電磁石で接点を開閉する電磁接点式(コネクタ)と、電動機による過負荷保護を行うために熱を利用した動作する熱型過負荷継電器(サーマルリレー)を組み合わせたもの。千トナなどを使用した機械、装置、設備には必須の機器として使われ、負荷のON/OFFや、過負荷電流が流れて機器の回路が焼損する事故を防止する大きな役割を果たしている。

工作機械、半導体・液晶製造装置、エレベーター、鉄道機器、船舶、空調機器、PV(太陽光発電)システム、配電盤など幅広い分野で、千トナの起動・停止、照明・ヒーターなどのON/OFFなどで使用されている。

日本電機工業会(JEMA)の産業用汎用電機機器出荷統計によると、2021年(1~12月)の出荷額は7億5000万円(前年比118.9%)と前年からの約44億円増加した。21年は毎月20~25億円をコネクタに維持し、前年同期比で増産を推している。単価の下落、海外生産の拡大などによる市場規模は縮小傾向にあったが、このところの旺盛な設備投資から上昇基調にある。

コロナ禍は継続しているものの、欧米や中国などの主要市場の景気が急速に回復したことで、工作機械や半導体製造装置、ロボットなどの需要が急増。加えて半導体の生産が需要に追い付かないことや、コロナ禍のロックダウンの影響で部品・素材の不足が顕著になって納期が長期化している。金属や銅などの原材料価格も高騰しており、各方面に大きな影響

省工数の切り札 スプリング式増加

を与えている。

さらに、カーボンゼロ社会実現に向けて自然エネルギーであるPV(太陽光発電)や風力発電活用の動きが強まっている。一般家庭でもPVを利用して売電から蓄電池などと組み合わせる自家消費型として導入するケースも増えている。電磁開閉器の需要につながっている。加えて、IoTに対応したビッグデータや5G通信に関連する情報化投資の増加が見込まれているが、とりわけ大型のデータセンターの建設への期待も高い。

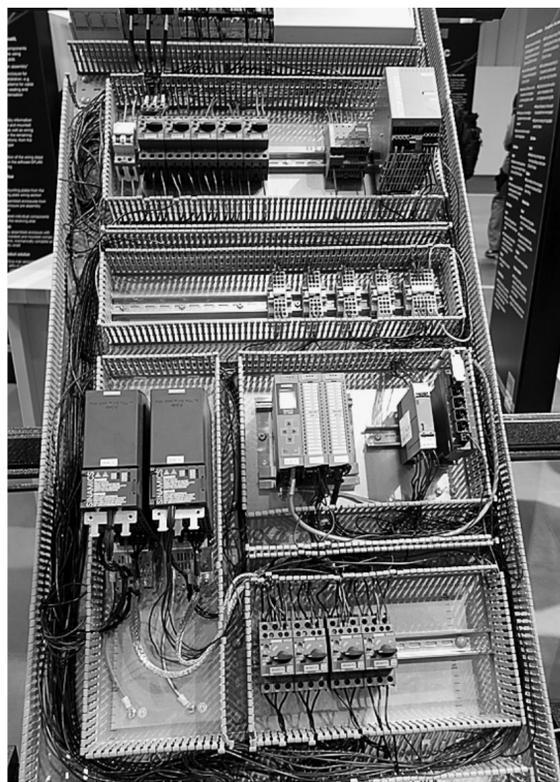
電磁開閉器は技術的にはほぼ完成の域にあると言われながらも、依然開発・改良が進められている。最近のポイントは小型化、省エネ化、グローバル対応、省配線化と配線作業性の向上、安否策などに重点が置かれている。

電磁開閉器はこれまで注目されているのが配線端子構造の変更だ。人手不足や熟練技術者の減少などから盤への機器取り付け作業の省力化が大きな課題となってきた。配線部に圧着端子を使用しないスプリング式を採用するメーカーが増える。今までも、省配線化と配線作業性の向上では、端子の配線数を外さなくても配線できるようにしたり、ハネを使って仮止めが容易にできるようにしたりと、工夫されている。しかし、作業性の良さ、接続信頼性から欧州タイプの圧着端子を使わないスプリング式の優位性の評価が定着したことで、一気に変化した。棒線、より線がそのまま使用できることから、電線の被覆作業やねじ締め付け作業が不要で、配線作業性が大幅に向上する。初心者でも熟練者でも作業スピードには大きな差が生じづらく、接続信頼性も高いことから増し締めといったメンテナンス工数も省ける。端子幅も電線の太さで良いことから、省スペース化にも貢献する。海外市場はスプリング式の配線が定着していることから、国内向けと海外向けで2つの方式を使い分ける必要もなくなる。

日本では官公庁の設備向けで、圧着端子の使用を配線設備基準で求めている部分が残っていることから、以前障壁が多かったものの、人手不足などの外的要因も加わり、今後配線方式は大きく変化するものと見られる。

工作機械、半導体製造装置、ロボット 好調継続 モータ関連

電磁開閉器 市場は上昇



小型・薄型化の取り組み進む

一方、小型化への取り組みも進んでいる。制御盤の小型・薄型化に対応し、10A以下以下の小容量タイプでは、横幅27mmを実現した製品も登場した。収納スペースの削減と駆動電力の低減に貢献する。電磁開閉器の小型化には、開閉時の高温ガス放出構造やアランプラントの形状最適化など設計の難しさが伴う。しかし、多数個並列し使用する多くの電磁開閉器では、個々の幅を少しでも削減できれば、盤全体は大きなスペース削減効果を生み出す。装置全体の小型化志向が続く中で電磁開閉器

の小型・薄型化は制御盤の小型化につながり、装置全体にも波及している。

電磁開閉器の小型化は同時に、環境配慮・素材の節約にもつながる。電磁石の改良では、巻き線の工夫に加え、吸引力のばつぎ抑制、コイルの温上昇などを防ぐことで、電磁石容量を約15~30%の省電力化を実現している。

しかし小型化を進める上では、開閉時に発生するアーク対策も技術上の課題になる。アーク対策を行わずにアークスペースを削減するために各社独自の消弧構造を採用して、省スペース化と安全

性を確保に取り組んでいる。

省配線化の一環として、電磁開閉器の主回路の高さを統一することで、専用スペースによる一次側接続配線ができるようになっている。これにより、配線数も大幅に減らせる。配線作業時間の短縮と誤配線の防止につながる。スペース設置状態は引き出しになっているが、このスペースにスイッチ状のカバーを覆って安全性の向上を図る動きが見られる。

さらに、可逆型電磁接点式は、電氣的にも開閉されており、インターロック配線

が不要になるほか、スペースもほとんど同じで済むため、内蔵スペースを有効に生かせる。安否策では、端子部に不意に接触しないように感電防止構造を採用した製品が一般化、不意な接触によって誤動作したり、異物が本体に侵入したりしないように保護カバーを標準で装着している。そのほか、制御回路と主回路の誤配線を防ぎ、それぞれ端子色を変えることで分かりやすくしたり、主回路と補助回路の端子配線の干渉防止と作業性向上、端子配線を工夫した設計も行われている。

電磁開閉器の接点着が発生した場合でも、安全開閉機構(ミラーコンタクト)として、補助点が確実に動作する機能も内蔵しており、事故の防止を図っている。

一般的に電気回路は、配線用遮断器、電磁接点式、サーマルリレーが使われ、

短絡事故からの電線保護、電動機の過負荷保護などを行っているが、これらの省スペース化省配線化を実現できるモータスタータの動向が日本でも注目されている。配線用遮断器、電磁接点式、サーマルリレーの代わりに、千トナレバと直流低消費電力型の電磁接点式を採用することで、取り付け面積を、従来3分の1まで削減することができるとして、進化しているために、従来の千トナレバと電磁接点式を専用パレットで一体化している。従来の配線用遮断器と電磁接点式を電線一本上を配線する作業も不要になり、配線時間を従来の半分程度に削減することが可能になるなど、トータルコストダウンに効果を発揮する。モータスタータをモジュール構造にするなど、オプションモジュールとしてモジュール化している。SIL3の安全レベルにも対応でき、千トナ制

御の安否対策につながることを期待されている。

モータスタータは欧米を中心に普及しているが、日本では配線方式や電圧の違いからあまり普及していない。しかし、日本から海外市場に向けて輸出する機会が増加する中で対応が求められおり、関税やVCA(計算方法)の実際のマニュアルなどを準備しながら対応を図っている。加えて、原材料や部品不足などからこのところ電子機器開閉部材の調達長期化していることから、構成機器が比較的少ない千トナスタータの採用比率が高まっている。

電磁開閉器は、電気機器に欠かせない千トナ需要はほぼ比例していることから、今後も安定した市場が見込まれる。DC市場の創出への期待も高く動向が注目される。

FE 富士電機
Innovating Energy Technology

盤のねじレス化に 富士電機のスプリング端子機器 F-QuiQ



配線にねじを使わないというだけで、現場がこんなに変わります。

- ダウンタイム短縮!
- ねじの増し締め不要!
- ねじの緩みトラブル解消!
- 異物混入リスク低減!
- 盤の省スペースに貢献!
- 感電などのリスクを低減!

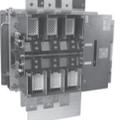
スプリング端子搭載電磁開閉器 SKシリーズ

お悩み解決サポート記事公開中!



電気接触は、WashiON共立継器におまかせください。

商品ラインナップを強化し、お客様のニーズに応えます。
お客様の「希望納期」にて対応します!!

電源切換用開閉器 SSKシリーズ 標準型・OFF位置付・オーバーラップ型・高速動作型・手動操作型		高圧真空電源切換器	
●高速動作 HTS TYPE  停電切換20ms以下を実現、さらに高速切換領域に到達 AC440V 30A~400A	●瞬時励磁機械保持型 E TYPE  シンプルな機構で高信頼性を実現 表面形、裏面形 AC660V 30A~1600A	●手動操作型 MO TYPE  手動操作で電源切換、短納期対応 表面形、埋込形 AC500V 30A~600A	● VSKシリーズ  電氣的、機械的インターロック 装備 固定形、引出形 7.2KV 200A~600A
●直流電磁接触器 KMDシリーズ  豊富な接点構成と、シンプル構造 250V・750V 5A~400A	●直流手動開閉器 BMSシリーズ  太陽光設備の接続箱に最適 R負荷でDC1000V10A、DC750V15A	●ソーラーリレー CS1-10A  逆流防止ダイオードの損失を低減するソーラーリレー DC750V10A	●高圧端子台 SNTシリーズ  DC1000V対応の端子台 難燃性UL94 V-0クラス 15A~600A

WashiON 共立継器株式会社
SSKシリーズ電源切換用開閉器・直流電磁接触器・補助継電器・端子台・オートメーションパーツ
本社 長野県諏訪郡下諏訪町4684-1 〒393-0087 ☎(0266)27-8910(代) FAX.(0266)27-7628
東京営業所 ☎(03)3834-9722(代) 名古屋営業所 ☎(0568)82-4271(代) 鳥栖営業所 ☎(0942)83-0564(代)
大阪営業所 ☎(06)6353-0221(代) 仙台営業所 ☎(022)773-5861(代) 千曲工場 ☎(026)276-5000(代)
●http://www.washion.co.jp

tu na ga ru
ユ-イ ツナガル システム

Powered by
EnOcean
Self-powered IoT



IoT × キャスターが
世界を変える



キャスターの総合メーカー www.yuei-group.com

株式会社 **ユ-イ**

ユ-エイ・ツナガル・システム
特設 WEB サイトはこちら!

WashiON共立継器

直流電磁接触器「KGDシリーズ」



電磁接触器メーカーのWashiON共立継器は、電源切換開閉、力、工業、鉄道、交通、情報通信用電磁接触器、高圧電磁接触器、直流通電磁接触器、工業用端子台、各種継電器、電動車関連機器など、多種多様な製品を開発し、高品質で高信頼性の製品を開発しています。直流通電磁接触器「KGDシリーズ」は、DC750Vまで直流通電の閉が可能で、主にDCモータに代表される重負荷開閉用として鉄鋼プラントなどの重要設備に使われています。高頻度の使用用途に耐えられる独自のナイフエッジ構造、ブローアウトコイル

https://www.washion.co.jp/

ナイフエッジ構造などで長寿命

富士電機機器制御

スプリング端子採用
電磁接触器「SKシリーズ」



富士電機機器制御は電磁開閉器の国内トップメーカーとして、用途に応じた豊富な品揃えと高い実績を有する。このうち、世界最小クラスの小型電磁接触器「SKシリーズ」。このうち、世界最小クラスの小型スタータ回路を構成できる。また、PLCのトランジスタ出力で直接駆動も可能な定格32A品までラインアップしている。そのほか、世界に通用する規格を標準品として取り扱っており、クローバル市場で採用されている。また、振動に強く長期の使用に耐えられるよう発生しない低騒音の主要規格を標準品として取り扱っており、クローバル市場で採用されている。

https://www.fujielectric.co.jp/fcs/

プッシュインで簡単配線

電磁開閉器 主要各社の製品紹介

フェニックス・コンタクト

モジュラー型ハイブリッドモータスタータ「CONTACTRON Pro」



フェニックス・コンタクトのモジュラー型ハイブリッドモータスタータ「CONTACTRON Pro」は、簡単なセーフティ統合機能、および同社独自のハイブリッドテクノロジーを採用し、DILレベルで複数のCONTACTRONの電源一括供給が可能になっている。モジュール幅22.5mmのボディに最大4つの機能(正転用、逆転用、非常停止用、サーマルリレー)を、非常停止用コンタクタを搭載、簡単なセーフティ統合機能、およびモジュール式拡張オプションによるハイブリッドテクノロジーにより、機能安全性をより向上させている。

http://www.phoenixcontact.co.jp

イトン・エレクトリック・ジャパン

xStartシリーズ
DILコンタクタ「プッシュイン」



イトン・エレクトリック・ジャパンは、UL、RN、CCCなど、グローバル規格に対応した幅広い製品ラインナップに追加した、この新しいツールフリー配線技術は、配線作業をより早く、より安全に、より効率的にする。DILのプッシュイン技術によるソリューションは、最高の信頼性を提供し、世界中のどこでも使用でき、既存のコンタクトホルダーに簡単に統合される。配線作業を簡略化することで、接続の確立が最大50%早くなり、スクリーン端子の比較、製品の競争力を高めることができ、また従来のねじ端子タイプと同じフットプリントであるため、既存のシステムに簡単に取付けられることができる。ラインナップも最大45A(A-C)3級38Aまで取りそろえ、オプションも充実。イトンの100年以上の経験に基づいて、従来のコンタクタ(DILコンタクタ)の素組と技術、お客様のニーズに合わせて安心して使用できるように調整された製品になっている。

https://www.eaton.com/jp/ja-jp.html



CONTACTRON Pro
モジュラー型ハイブリッドモータスタータ



- 幅22.5mmのコンパクトボディで盤内スペース削減
- 1台で最大4つの機能(正転・逆転・サーマル・非常停止)
- 従来型コンタクタに比べて約10倍の長寿命
- モジュラー型により配線工数とスペースを削減

製品カタログダウンロード、詳細はウェブサイト!



www.phoenixcontact.co.jp

フェニックス・コンタクト株式会社

© PHOENIX CONTACT 2022 横浜支店 東京支店 さいたま支店 東北支店 北陸支店 静岡支店 名古屋支店 大阪支店 京都支店 広島支店 福岡支店
045-471-0030 03-5835-3885 048-631-3371 022-226-8890 076-210-4360 054-202-6324 052-589-3810 06-6350-2722 075-325-5990 082-568-1664 092-418-2030



Push-inでWIN-WIN

モータスタータ PKZ & DILコンタクタ

- Faster commissioning**
 - ネジ端子に対して50%の時間節約
 - ケーシングに対して40%の時間節約
 - 工具なし挿入
- 機械および電気システムの品質の向上**
 - 高い耐振動性と耐衝撃性
 - 生涯にわたってメンテナンスフリー (ネジの締め直しなし)
- 簡単な統合**
 - 既存の品揃えとの高い互換性
 - バスバースとの互換性のためのスクルー・プッシュインコンビネーションデバイス
- 将来性のある配線**
 - 次のレベルのスパリングターミナル
 - ロボット対応の配線を可能にします



Eaton.com/win-win



イトン・エレクトリック・ジャパン株式会社 https://www.eaton.com/jp/ja-jp/

大阪 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ12階
東京 : 〒107-0052 東京都港区赤坂8-11-37 いちご乃木坂ビル7階
三島事業所 : 〒411-0801 静岡県三島市谷田61-1

ものづくり・FA・自動化業界掲示板

新製品・新サービス

■オムロン、デジタルアンブ分極光電センサ

オムロンは、デジタルアンブ分極光電センサ(レーザタイプ)「E3C-LDA□N」を発売した。ビームユニットの着脱で、3種類のビーム(スポット、ライン、エリア)に変更可能。



https://www.smcworld.com/products/ja/get.do?type=GUIDE&id=LEG&show_page=true

■NTN、小型・軽量のトルクダイオードを開発

NTNは、逆入力遮断クラッチ「トルクダイオード」の新たなラインアップとして、従来品(TDL28)に対して外輪外径を1/3(10mm)、重量を1/14(5g)にした小型・軽量のトルクダイオード「TDL8」を開発した。用途は、各種産業機械(逆入力防止機構や落下防止機構など)、産業機械の小型・軽量化・省エネルギーに貢献する。



https://www.ntn.co.jp/japan/news/new_products/news202200008.html

■セイコーエプソン、産業用3Dプリンター開発

セイコーエプソンは、独自技術で、さまざまなサイズや機能の工業部品を、汎用的な材料を使いながら、精度と強度を高いレベルで生産できる新しい産業用3Dプリンターを開発した。最終製品向けの部品生産など3Dプリンターの対象用途を大幅に広げ、多品種生産に対応するマスカスタマイゼーションの推進に貢献する。



今後は、社内で商業・産業機器などの一部部品の量産に活用しつつ、プリンターの完成度を高め、商品化を目指す。

https://www.epson.jp/osirase/2022/220307_2.htm?fwlink=jptop_news_2237_3

■小野測器、モータトルク検出器MTシリーズ高精度タイプを発売

小野測器は、モータトルク検出器MTシリーズに小型高剛性トルク検出器RHシリーズ(10N・m/20N・m)を採用した高精度タイプを発売した。高精度(±0.05%F.S)でより高い周波数域までの計測ができるようになり、モータのトルク変動をより詳細に計測することが可能。モータトルクより正確な挙動を把握することで、モータの机上シミュレーションの精度向上や、モータの開発効率の向上に貢献する。



https://www.onosokki.co.jp/HP-WK/c_support/oshirase/220307_oshirase.htm

■日本精工、高精度な検出で衝突力を緩和する「協働ロボット用アクチュエータ」を開発

日本精工は横浜国立大学と共同で、高精度な検出で人やモノとの衝突力を緩和する「協働ロボット用アクチュエータ」を開発した。今後、同開発品は高精度な負荷トルク検出が必要とされるパワーアシストロボットや医療ロボット、自走ロボット(車輪スリップ検出)など幅広い用途への適用が期待されているという。協働ロボットメーカーや、それらの導入を試みているユーザーに対して提案し、実証試験など販売準備を進めていく。

https://www.nsk.com/jp/company/news/2022/0225_c.html

■HIOKI、バッテリー品質検査用の計測器を年内に3製品発売

HIOKI(日置電機)は、世界各国で需要が拡大しているLIB(リチウムイオンバッテリー)の安全性を向上させるため、バッテリー生産ラインの品質検査で潜在不良を検出できる計測器3製品を2022年中に発売する。主な用途はLIB生産工程の絶縁抵抗試験、耐電圧試験、溶接品質検査など。発売にさきかけ先行情報特設サイト(https://lpcreator.hioki.co.jp/battery_3products/)で公開している。続報は4月に公開予定。

https://www.nsk.com/jp/company/news/2022/0225_c.html

■SMC、バッテリーレスアプリアートエンコーダタイプ電動アクチュエータ/高タクト対応ガイド付ロボットタイプ/LEGを発売

SMCは、新製品情報にバッテリーレスアプリアートエンコーダタイプ電動アクチュエータ/高タクト対応ガイド付ロボットタイプ「LEG Series」を新たに追加した。最大搬送物質量はそれぞれ75kg(サイズ25)、100kg(サイズ32)、150kg(サイズ40)。高タクトコントローラ対応で最大加減速度は5000mm/s²。バッテリーレスアプリアートエンコーダを搭載した。ガイドユニットをコンパクトに一体化し、耐荷重を向上させた。

https://www.smcworld.com/products/ja/get.do?type=GUIDE&id=LEG&show_page=true



企業ピックアップ

■シュナイダーエレクトリック、製品価格改定

シュナイダーエレクトリックは4月1日から一部の製品で参考標準価格を改定する。原材料の調達価格や輸送コストが大幅に上昇している中、同社内の取り組みなどで価格維持に努めてきたが、現行価格での販売継続が困難な状況となり、今後も可能な限り当該製品の生産・販売を継続するため、やむを得ず価格改定するという。

<https://www.proface.com/ja/news/2022/0228>

■東芝インフラシステムズ、国内初のAIによる車両向け自動学習・制御最適化制御指令伝送装置等を納入

東芝インフラシステムズは、東海旅客鉄道が3月5日から中央本線で運行開始した在来線通勤型新型車両である「315系」向けに、国内初のAIによる自動学習・制御最適化機能を備えた制御指令伝送装置、Hybrid-SiC(シリコンカーバイド)素子を適用した

車両制御装置をはじめ、主電動機、空調装置(インバータ式)、主幹制御器などの電気品を納入した。

<https://www.toshiba.co.jp/infrastructure/news/20220304.htm>

■IMV、輸送試験用小型振動試験機を導入したヤマキの事例公開

IMVは、削り節メーカーであるヤマキ(愛媛県伊予市)に2020年9月に導入された新型輸送試験用小型振動試験機「m130LS/MA1-CE」の事例を公開した。

以前は包装資材メーカー等に輸送評価試験を委託していたが、愛媛本社と委託先が離れていたため頻繁な試験実施は難しく、月1回程度、複数の試験をまとめて行っていた。移動時間と試験時の待ち時間が多く、非効率であったため、業務効率を向上させるため自社への試験機導入を検討した。

<https://www.imv-global.com/news/examples/yamaki/>

■ソニーと本田、モビリティ分野で戦略的提携に基本合意

ソニーグループと本田技研工業は、新しい時代のモビリティとモビリティサービスの創造に向け、戦略的な提携に向けた協議・検討を進めることで合意した。具体的には、両社で合弁会社を設立し、新会社を通じて、高付加価値の電気自動車・バイク・EVを共同開発・販売し、モビリティ向けサービスの提供と併せて事業化していく意向を確認した基本合意書を締結。両社は、今後、共同開発契約と合弁契約を含む法的拘束力のある各種確定契約の締結に向けて協議し、これらの確定契約の締結と関係当局の許認可の取得を条件として、2022年中の新会社設立を目指す。

<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/News/Press/202203/22-0304/>

■FDK、高容量円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池の国内生産拠点集約

FDKは、高容量円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池の生産拠点を1カ所に集約し、生産体制を強化する。鳥取工場(鳥取県岩美郡)と鷲津工場(静岡県湖西市)の2拠点で事業展開してきたが、鷲津工場での生産を3月末で終了し、生産拠点を鳥取工場に集約。鷲津工場の生産設備移設後の鳥取工場での再稼働は、6月を見込む。

今回、移管の対象となるのは、CR2/3 8・L、CR2/3 8LHT、CR8・LHC、CR8LHTの4モデル。電気や水道の電子メーター、住宅用火災警報器などに搭載されているほか、産業用機器のメモリーバックアップ電源として使われている。

<https://www.fdk.co.jp/whatsnew-j/release20220301-j.html>

■FUJI、豊田事業所ショールーム開設

FUJIIは豊田事業所ショールームを開設した。展示機は複合加工機「GYROFLEX」、機軸NC旋盤「TN300II」、モジュール型生産設備「DLF_n」、正面2軸旋盤「CSD300II」、対向2軸旋盤「ANW35」、電子部品実装ロボット「NXTR-Sモデル」、小型多関

工場新設・増設情報 3月第3週

▶化粧品容器製造のツバキスタイル、容器リサイクル事業会社設立と新工場建設

化粧品容器製造販売のツバキスタイルは、化粧品、トイレット容器のリサイクル事業を行う子会社として株式会社BEAUTYCLE(ビューティクル)(佐賀県唐津市)を設立し、新工場を建設する。

新工場は、2階建の延床面積4000㎡のリサイクル工場と、1650㎡の倉庫からなり、化粧品、トイレット容器の回収→洗浄→粉砕→樹脂化→容器として再生する水平リサイクルシステム構築を担う。ポリエチレン、PP、PETそれぞれを月あたり150トンの処理が可能となる予定。2023年1月に稼働開始する。

また化粧品・医薬品製造で「パーフェクトワン」化粧品を展開する新日本製薬は、使用済み容器を直営店舗で店頭回収し、同工場で再生するリサイクルプログラムを4月から開始する。

<https://tsubakistyle.co.jp/beautytle>
<https://corporate.shinnihonsei-yaku.co.jp/release/>

節ロボット「SW」等。特別展示として同社の歴史や、他事業部の紹介、デジタルトランスフォーメーションへの取り組みなど。展示機や特別展示内容は入れ替わる場合がある。

場所はFUJI豊田事業所(〒470-0452豊田市迫町戸尻480)、完全予約制で受付時間は月～金9:00-11:30/13:30-16:00(同社休業日を除く)。
<https://www.fuji.co.jp/data/news/3212/doc.pdf>

■日本航空電子工業、「パートナーシップ構築宣言」公表

日本航空電子工業は、経団連会長や日商會頭、連合会長、関係大臣(内閣府、経済産業省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省)をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」で創設された「パートナーシップ構築宣言」に賛同し、「パートナーシップ構築宣言」を公表した。同社は、引き続き取引先とCSR調達ガイドラインを基調としたサプライチェーンを構築し、顧客や社会に対して価値を創造していくとしている。

「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを企業の代表者の名前前で宣言するもの。
<https://www.jae.com/topics/detail/id=105659>

■ファナック、「ClarivateTop100グローバル・イノベーター2022」を受賞

ファナックは、グローバルな情報サービス企業であるクラリベイト社による「ClarivateTop100グローバル・イノベーター2022」を受賞した。同社は2012年、2013年にも受賞しており、今回が3度目の受賞となる。

本賞は、世界中の特許庁が活用する特許データベースDWPIと、「成功率」、「グローバル性」、「影響力」、「技術分野の広さ」の4つの要素でイノベーションを評価するクラリベイト社独自の評価基準に基づいた分析によって、世界の革新的な企業や研究機関の上位100社を選出したもの。2012年から毎年発表され、今年で11回目となる。

<https://www.fanuc.co.jp/ja/profile/pr/newsrelease/2022/news20220307.html>

■キヤノン、TSMC社の「2021ExcellentPerformance Award」を受賞

キヤノンは、半導体ファウンドリー世界最大手のTaiwan Semiconductor Manufacturing Co. (TSMC社)から、TSMC社の事業や半導体産業の発展に大きく寄与した企業に贈られる「2021ExcellentPerformance Award」を受賞した。

今回キヤノンが受賞したのは、「2021ExcellentPerformance Award」で、優秀な生産サポートを行った企業に贈られる「ExcellentProductionSupport」。キヤノンは、TSMC社のビジネスの拡大に精度と生産性を両立した半導体露光装置で貢献したこと、迅速な設置や柔軟なサポートでTSMC社の半導体製造に寄与したことが評価された。

<https://global.canon/ja/news/2022/20220124.html>

archives/10479 ▶栃木県宇都宮市の弁当製造の松酒家、今秋移転し新工場建設

駅弁など弁当製造・販売の松酒家(栃木県宇都宮市)は、本社兼工場を益子町に移転し、新工場を建設する。稼働開始は今秋予定。

<http://www.ekiben-matsunoya.co.jp/>

▶服部製紙、ウェットティッシュなど衛生紙の新工場(愛媛県四国中央市)が稼働

服部製紙は、キッチンペーパーとウェットティッシュの生産を担う新工場となる川之江工場が稼働開始した。キッチンペーパーは現在の1.5倍の生産能力を持つ全自動加工機を増設し、ウェットティッシュはフタ付きの大容量タイプの生産ライン、ハンディタイプのラインを増設して増産に対応している。

<https://www.hattoripaper.co.jp/special.html>

▶鉄筋工事の国井興業、埼玉県熊谷市の本社工場の移転・ライン新設で製造拠点を集約

鉄筋工事の国井興業は本社工場を移転し、新たな本社工場には鉄筋加工ラインを2ライン新設して製造拠点を集約する。

<https://www.kuniicogyo.co.jp/>



世界の製造業が採用 IPC 品質標準規格



グローバルに通用する製品品質を備え、世界各地での躍の第一歩に――



ジャパンユニックスではIPCの標準規格書・情報・サービスを提供しています

はんだ付工程を 見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』ではんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



IPC 標準規格書 無料版 まずはwebからダウンロード

『IPC』『規格』『無料』で検索

ジャパンユニックス製品 導入事例集 webにて公開

『はんだ付 導入事例』で検索

株式会社 ジャパンユニックス
<http://www.japanunix.com>

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554
大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581
名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112
テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503